

岡山県
くりにん

No.51
2015.1





環境

を考える

産業廃棄物の処理・処分を適正に行い、循環型社会形成のためにリサイクルの推進を行ってまいります。

未来に翔く



倉敷企業 合資会社

倉敷市 許可番号 第10040002863号

ISO14001
認証取得



JQA-EM5372

- ・本社：岡山県倉敷市中央 1-6-24 ☎(086)424-6429
- ・弥高山事業所：倉敷市玉島服部 3318-2 ☎(086)525-8515
- ・黒石事業所：倉敷市黒石 1052 ☎(086)426-1379
- ・大平山リサイクルセンター：倉敷市連島町西之浦 4566-1 ☎(086)448-8224

産業廃棄物中間処理

がれき類(コンクリートくず、アスファルトくず、瓦くず等)、廃プラ、木くず、紙くず、繊維くず、建設汚泥、廃石膏ボード、金属くず、ガラス・陶磁器くず 等

最終処分(安定型・管理型)



再資源化施設
(コンクリートくず・アスファルトくず)



再資源化施設
(木くず)



固形燃料施設
(廃プラ・木くず・紙くず)

岡山県エコ製品(再生砕石、再生砂、改良土)、
木材チップ(燃料用、原料用)、固形燃料(RPF)の販売



中央建設(株)

収集運搬業
岡山県知事許可第03303023386号
倉敷市長許可第10010023386号
本社 ☎(086)424-6429

(株)トヨ商事

倉敷市長許可第10040030706号
本社 ☎(086)424-6429
黒石 ☎(086)426-1379

◆年頭あいさつ◆

- 「地域社会に貢献できる業界」を!! 一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会 会長 岡本 靖磨 呂 2
生き生き岡山の実現に向けて 岡山県環境文化部長 森廣 伸之 3
PCB廃棄物の早期処理のために 岡山市環境局長 甲斐 充 4
重要な静脈産業としての廃棄物処理業 倉敷市環境リサイクル局長 古谷 太一 5
諸課題にともに取り組みを 公益社団法人 全国産業廃棄物連合会 会長 石井 邦夫 6

◆行政ニュース◆

- 産廃の違法運搬を食い止める！ 抜き打ち検査を実施しています 7
PCB廃棄物の適正処理に御協力を！ 8
電子マニフェストを導入しましょう！ 10
その廃棄物まだ使えますか??～循環資源マッチング制度のご紹介～ 11
「買い物にはマイバッグ持参」に御協力を！～マイバッグ運動～ 12

〈世界見聞録34〉 神の島、神秘の島 倉敷芸術科学大学 河邊誠一郎 13

◆支部ニュース◆

- 〈岡山西支部〉 貝殻山クリーン作戦 17
〈東備支部〉 環境クリーン作戦 18
〈倉敷支部〉 第21回倉敷地域クリーン作戦 19
〈井笠支部〉 第17回井笠地域環境クリーン作戦実施 20
〈備北支部〉 揃いの青ジャンパーでアピール 21
〈津山支部〉 第20回津山地区環境クリーン作戦 22

◆青年部会のページ◆

全国産業廃棄物連合会 青年部協議会 第9回全国大会 中部大会 in 名古屋 23

◆趣味のコーナー◆

楽しくローディライフを満喫 24

◆事業報告◆

- 宿泊研修 北海道の視察研修に参加して♪ 25
日帰り視察 平成26年度優良施設日帰り施設研修会 27
「第13回 産業廃棄物と環境を考える全国大会」に参加して 28

◆全産連ニュース◆

平成26年度第2回中国地域協議会の概要 29

◆新入会員紹介◆ 30

◆事務局だより◆ 30

表紙カラーガイド／編集後記 31



*右下のマークは、産業廃棄物適正処理のマスコット「てき丸君」です。



「地域社会に貢献できる業界」を!!

一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会 会長 岡本 靖磨呂



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、日頃より当協会の事業運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて昨年は、アベノミクスの金融緩和政策により景気の回復の兆しが見えはじめましたが、中小企業や地方への波及はまだまだで、消費税の増税と相まって実感が得難いところです。また、昨年は災害の多い年でもありました。特に、広島県の土砂災害では、改めて災害が身近なものとして感じた年でもありました。

産業廃棄物を取り巻く環境は、大量排出・大量廃棄の時代から、排出抑制・再使用・リサイクルという3Rの時代に入り、我々業界も、排出者から委託を受け産業廃棄物を適正に処理するだけでなく、循環型社会の形成に寄与する業界として、その役割を担っていく時期を迎えています。また、異常気象により各地で大きな災害が頻発していることから、災害廃棄物の処理における我々業界の果たすべき役割も大きくなってきています。

国においては、小型家電リサイクルなど循環型社会形成のための取組が一層進められるとともに、東日本大震災を契機として大規模災害における災害廃棄物の処理の広域連携体制の整備が進められています。また県内に目を向けると、産業廃棄物の排出量や不法投棄件数は減少傾向にありますが、建設廃棄物等の不適正処理や不適正保管に対する行政指導が繰り返されています。また、リサイクル処理した再生品の流通も思うように進まず、利用されず多量に保管されている状況も見受けられ、適正処理の確保、循環型社会の形成には多くの課題が蓄積されています。

このような現状を踏まえ、当協会では、「地域に貢献できる業界」「社会に貢献できる業界」を目指し、自らの資質の向上に努め、不法投棄の撲滅及び適正処理の推進に取り組むとともに、岡山県内におけるリサイクルの推進や災害廃棄物の処理体制の整備に向け、行政機関や関係団体等と連携して取り組んで参りたいと存じますので、会員の皆様方のご理解とご協力、また関係行政庁の皆様のご指導ご鞭撻をお願いし上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

生き活き岡山の実現に向けて

岡山県環境文化部長 森 廣 伸 之



明けましておめでとうございます。

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様におかれましては、平素から本県の廃棄物行政に多大な御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会は、設立以来これまで、産業廃棄物の適正処理、リサイクルの推進に係る研修会の開催などの各種普及啓発、各地域における不法投棄物撤去事業や環境学習事業など、幅広く環境保全に関する活動に熱心に取り組まれており、深く敬意を表しますとともに、今後とも関係者の皆様方の連携により、地域に密着した取組がより一層推進されますことを期待いたしております。

さて、県におきましては、県政推進の羅針盤である「晴れの国おかやま生き活きプラン」を昨年4月からスタートさせたところですが、「循環型社会形成の推進」、「廃棄物適正処理対策の推進」につきましても、重点戦略のうちの一つ「安心して豊かさが実感できる地域の創造」の中の「快適な生活環境保全プログラム」として盛り込まれており、法令遵守など排出事業者責任のさらなる徹底と、電子Manifestoの普及促進など適正処理に向けた取組を進めるとともに、廃棄物の排出抑制やリサイクル率を向上させ、「生き活き岡山」の実現を図ってまいりたいと考えております。

また、東日本大震災を踏まえ、昨年3月に国が災害廃棄物対策指針を策定したところですが、比較的災害が少ない地域と言われております本県でも、南海トラフ大地震などの災害発生時には、相当規模の被害の発生が想定されていることから、災害廃棄物の処理が適正かつ迅速に行われるよう、現在、国の指針に基づきまして、岡山県災害廃棄物処理計画の策定作業を進めているところです。

さらに、「水銀に関する水俣条約」が採択され一年余が経過しましたが、現在、国において水銀廃棄物対策の適正な処理等に関する事項について検討が進められており、来年とも言われている条約の発効に際しては、廃棄物処理法などの改正も行われると思われまますので、県としても、適切に対応したいと考えております。

「生き活き岡山」の実現に向け、循環型社会の形成をさらに推進していくためには、行政施策のみならず、環境に配慮したライフスタイルの実践など県民一人ひとりの取組とともに、豊富な経験や人材を有する貴協会と会員皆様方の御協力が不可欠でありますので、引き続き御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会と会員皆様方の益々の御発展を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

PCB廃棄物の早期処理のために

岡山市環境局長 甲斐 充



平成27年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。
一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様には、日頃から岡山市政とりわけ廃棄物行政へのご理解とご協力をいただいておりますこと厚く御礼申し上げます。

また、貴協会におかれましては、廃棄物適正処理の推進、業界関係者の指導・育成、さらには関連事業の一層の発展にご尽力されておられ、そのご努力と熱意に心から敬意を表します。

本市では昨年秋、世界97の国と地域から約3000人の方々にご参加いただき『ESDに関するユネスコ世界会議』が開催され、岡山の地域に根差した環境保全や国際理解などの取組を今後の世界におけるESD普及モデル（岡山モデル）として広く世界に向けて発信し、高い評価をいただいたところです。

さて、PCB廃棄物の適正な処理の推進に関しましては、環境省をはじめ各自治体においても早期処理の実現に向けた対策強化が進められているところで、平成24年にPCB廃棄物の処理期間を平成39年3月まで延長する法改正が行われ、昨年6月には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画の改訂、中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下JESCO）の処理期間の延長や計画的処理完了期限と事業終了準備期間が定義されるなど、PCB廃棄物の確実かつ適正な処理を進めるための新たな道筋が定められました。

しかし、法改正により処理期限は延長されたとはいえ、JESCOの処理期間の再延長は行われなことが決定されており、期限内でのPCB廃棄物処分を早期に、そして確実にを行うことが重要だと考えます。

PCB廃棄物問題を期限内に解消するためには、処理施設の増加や処理の効率化など、処理体制の強化に向けた取組に加え、岡山市では、未届出のPCB含有機器の掘り起こし調査を行うなど、PCB廃棄物の把握に力を入れております。さらに期限内の処理に向けた必要な指導等の実施や処理促進に向けた更なる啓発活動等を行い、安全・安心な廃棄物処理体制の構築に努めてまいります。

廃棄物処理業界の皆様には、これまでも廃棄物の適正処理をはじめとした多くの施策に多大なご協力をいただいているところでありますが、PCB廃棄物の適正処理に向けてより一層のご協力をいただければ幸いです。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

重要な静脈産業としての廃棄物処理業

倉敷市環境リサイクル局長 古谷 太一



平成27年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会並びに会員の皆様におかれましては、平素から倉敷市の産業廃棄物行政に対し、格別なる御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年3月で東日本大震災から4年が経つこととなります。甚大な被害を受けた被災地の復興は進んでおりますが、放射性廃棄物の保管貯蔵施設の問題など、未だ解決されていない問題もまた山積しているのが現状です。近い将来に高確率で発生が予想されている南海トラフ地震等の巨大災害が発生した場合も、広域で甚大な被害が発生するとともに、膨大な量の災害廃棄物が発生することが想定されます。また、近年頻発している異常気象による局地的豪雨での風水害等も同様です。自然災害に伴う災害廃棄物の発生は、国民生活や企業活動において深刻な不安材料となっております。これまでの巨大地震等の災害経験から、廃棄物の安全かつ適正な処理は、防災を含めた災害対策において、非常に重要な位置づけがなされているところです。

また、廃棄物を「都市鉱山資源」と捉え、有用資源の再生利用の推進を目的とした小型家電リサイクル法が平成25年4月から施行されたように、廃棄物の再生利用は循環型社会の形成に寄与するのみならず、産業振興の基盤として極めて重要な産業となっております。

これらに代表されるとおり、皆様方の産業廃棄物処理業は、国民生活を支える「静脈産業」として大変重要な、決して欠かせない産業となっております。これもひとえに皆様方のこれまでの多大な御尽力によるものであると存じます。今後とも、廃棄物の適正処理に貢献されることを大いに期待申し上げます。

本市では、平成23年3月に策定した倉敷市第六次総合計画において「循環型社会の形成」を掲げております。廃棄物の減量化・資源化及び適正処理に努め、廃棄物の排出に伴う環境負荷の少ないまちを実現するべく、PCB廃棄物保管業者に対する早期適正処理の推進、排出事業者や処理業者に対する適正処理の指導・監督、不適正処理防止を目的とした監視体制の強化など、各種施策を進めているところです。

今後とも、「自然の恵みと ひとの豊かさで 個性きらめく倉敷」を目標とし、市民生活の向上に全力で取り組んでまいりますので、皆様方のより一層の御理解と御協力をよろしく申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、御多幸を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

諸課題にともに取り組みを

公益社団法人 全国産業廃棄物連合会 会長 石井 邦夫



一般社団法人岡山県産業廃棄物協会の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は、当連合会の諸事業に皆様の多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内経済は、景気回復に対する国民の期待感が高まる半面、消費税の増税、そして円安の進行等の経済情勢が変化する中、残念ながら国民が景気回復をはっきりと実感するまでには至らなかった1年でした。

また、風水害等の自然災害が猛威をふるい、各地に多大な被害をもたらした年でもありました。昨年1年間に発生した主な自然災害をあげてみますと、2月の記録的な豪雪、7月から8月にかけての集中豪雨、9月の御嶽山の噴火、台風の襲来等、極めて大きな災害が連続し、多数の方々が被災し尊い人命が失われました。

私は、昨年一年頭のご挨拶におきまして、災害対策を進めるなど「安心できる社会づくり」が急務であることを提言させていただきました。その趣旨は、経済の成長戦略を実行し、景気回復を本格軌道に乗せるためには、将来にわたり安心して国民が生活でき、企業が事業展開を行っていける、そのような社会づくりが必要であることを強調したものでございます。

本年は、昨年の提言に掲げた安心できる社会づくり、そして循環型社会の形成に資する「責任ある業界」の姿勢を、これまで以上に打ち出す年にしたいと考えております。その主要なテーマは、次の3つでございます。

まず第1に、安心できる社会づくりに向け、災害廃棄物対策の制度面での検討を進め、その確立を目指すことであります。防災、減災はもとよりですが、東日本大震災をはじめ、これまでの自然災害での経験を踏まえ、被災地復興に不可欠である迅速な災害廃棄物処理の制度的な手当を議論し、国に提案して参りたいと思っております。

第2に、循環型社会の形成に向け、特に資源保全の観点での取り組みを促進することでございます。廃棄物を資源・エネルギーに転換する機能を持つ当業界の事業は、少し視点を変えてみますと、資源の多くを海外に依存するわが国にとって、資源保全の観点からも重要な役割を担うべきものと自負しております。

このような廃棄物から資源・エネルギーを創出する「循環産業」への流れを拡大するためには、業界の自主的な努力は当然のこととして、業界の取り組みを強力に後押しいただくような、総合的な振興策の創設がぜひとも必要と考えております。このため当連合会は、振興策の姿を描くためのタスクフォースを設置し、鋭意検討を進めているところでございます。

第3に、海外への事業展開の推進でございます。国外に目を向けますと、当業界が保有する技術を海外に移転し、相手国の環境問題の解決を助けることは、国際環境協力で少なからず貢献し得るものであると考えております。この課題につきましては、当連合会におきましても議論しているところでございますが、国におかれましては、海外展開を行う事業者のリスク低減に資する施策を強力に実施していただくよう望むところでございます。

このほかにも、わが業界を取り巻く制度的及び技術的な課題が山積しております。当連合会は、これらの諸課題に取り組み、貴協会とともにわが国の循環型社会の形成と産業廃棄物処理業の発展に一層の貢献を果たして参りたいと考えております。本年も皆様のご指導・ご鞭撻を頂戴できれば幸に存じます。

最後になりますが、この1年が皆様にとりまして、素晴らしい年でありますようお祈り致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



産廃の違法運搬を食い止める！ 抜き打ち検査を実施しています

1 取組の概要

かつては、産業廃棄物を県内に搬入し、計画的に不法投棄等の不適正処理を行う事例が近畿・関西からと目される産業廃棄物を中心に生じ、大きな社会問題となっていました。現在は、そのような問題はほとんどありませんが、県外から搬入されて最終処分される産業廃棄物の量が依然として多い状況は変わっていません。

また、県外の排出事業者に対し、本県が監視指導を定期的に行うことは困難なのが実情です。

そこで、本県では、産業廃棄物の適正処理を確保する方策の一つとして、排出事業者の県外からの産業廃棄物の搬入に係る事前協議制度を設けています。この制度により、産業廃棄物の適正処理や県外からの搬入抑制に一定の効果が上がっていると思われませんが、事前協議を経ることなく県外から産業廃棄物が搬入されるケースも散見されます。

こうした背景から、平成15年度から年に数回、警察の協力を得て主要幹線道路において産業廃棄物を運搬している車両の抜き打ち検査を実施し、廃棄物の種類・性状、排出事業者、運搬先等を確認するとともに、マニフェストとの突合等を行っています。

2 路上検査の結果（過去3年間の累計）

路上検査を年に2回実施しています。第1回（6月頃）は県単独で、第2回（10月頃）は岡山市及び倉敷市と合同で県下一斉に実施しています。

(1) 第1回（県内3カ所で実施）

		岡山県
停車指示車両数		101台
	うち産廃関係車両数	31台
	うち指導台数	9台

(2) 第2回（県内5カ所で実施 岡山市及び倉敷市と合同）

		岡山県	岡山市	倉敷市	合計
停車指示車両数		143台	38台	21台	202台
	うち産廃関係車両数	59台	16台	16台	91台
	うち指導台数	8台	12台	1台	21台

3 今後の取組等について

特に多く見受けられる違反は、許可証の写しの不携帯、マニフェストの不携帯や記載不備、車両への表示義務違反があります。これは、すぐに改善できるものですので、是非一度確認するようにしてください。

また、産業廃棄物を産業廃棄物でないと思いこんで運搬するケースが散見されますが、このようなミスも事前に産業廃棄物の担当窓口で確認すれば防げるものです。気軽に電話等で問い合わせいただき、法令違反を問われる事態を回避していただければと思います。

幸い、現在まで悪質な違反事実は確認されていませんが、産業廃棄物の不適正処理は、生活環境に大きな影響を与えかねない問題です。本県では、今後とも路上検査を継続する予定ですが、さらに効果的な実施方法について検討していく必要があると考えています。



PCB廃棄物の適正処理に御協力を!

1 PCBとは

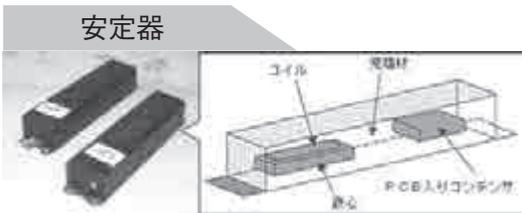
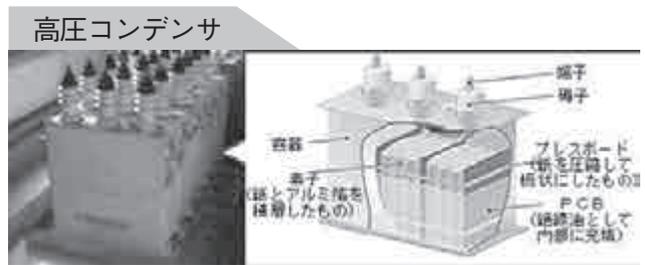
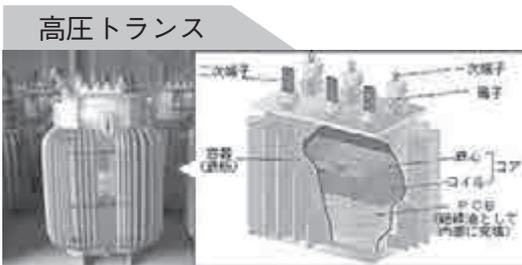
(1) PCB (ポリ塩化ビフェニル) の性質

水に不溶
難燃性・不燃性
化学的に非常に安定
電気絶縁性が高い
沸点が高い



(用途)
・コンデンサやトランス等電気機器の絶縁油
・熱交換機の熱媒体
・ノンカーボン紙 etc.
→昭和47年頃まで様々な用途で利用
→現在は製造・使用禁止

(2) PCBが使用されている主な機器

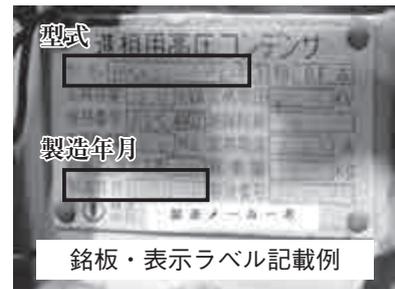


<注意>PCBが使用された安定器は、PCBが封入された部分以外にもPCBに汚染されているものが多いため、分解・解体は認めていません。

2 PCB含有の確認方法

- ・各機器についている銘板・表示ラベルを確認
- ・型式、製造年月等をチェックし、製造メーカー等に確認

<注意>使用中の電気設備については、接触等により感電のおそれがあり非常に危険なので、確認する場合には必ず電気主任技術者等の専門家にご相談ください。



3 PCBが確認された場合の対応方法

(1) PCB廃棄物の保管状況等の届出

- ・PCB廃棄物の保管事業者は、PCB特別措置法に基づき、県知事に保管状況等の届出が必要です。(処理されるまでの間、適正に保管しなければなりません。)
- ・PCBの使用が確認された場合は、まずは県庁循環型社会推進課にご相談ください。(循環型社会推進課 TEL: 086-226-7308)

(2) PCB廃棄物の適正処理

- ・ PCB廃棄物は、PCBの濃度によって取扱いが異なります。
- ・ 高濃度のPCBが使用された機器は、中間貯蔵・環境安全事業(株) (JESCO) 北九州PCB処理事業所に処分を委託することとなります。
- ・ 低濃度のPCBが使用された機器は、国が認定した施設又は県が許可した施設の設置事業者処理を委託することとなります。

4 岡山県PCB廃棄物処理計画の改定について

(1) 経緯

- ・ 岡山県では、「岡山県ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画（以下「県計画」という。）」を策定し、県内のPCB廃棄物の確実かつ適正な処理を進めています。
- ・ 平成26年6月に、国が定める「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画（以下「基本計画」という。）」が改定され、JESCOの事業期間が最大で平成36年3月31日まで延長されました。
- ・ 基本計画の改定に伴い、県計画も改定する必要が生じたため、現在改定に向けた準備を行っているところです。

(2) 改定の方向性

ア JESCOで処理するPCB廃棄物の処理期限の変更

- ・ 高圧トランス、コンデンサ等 : 平成27年3月 → 平成31年3月31日
- ・ 安定器等、汚染物 : 平成27年3月 → 平成34年3月31日

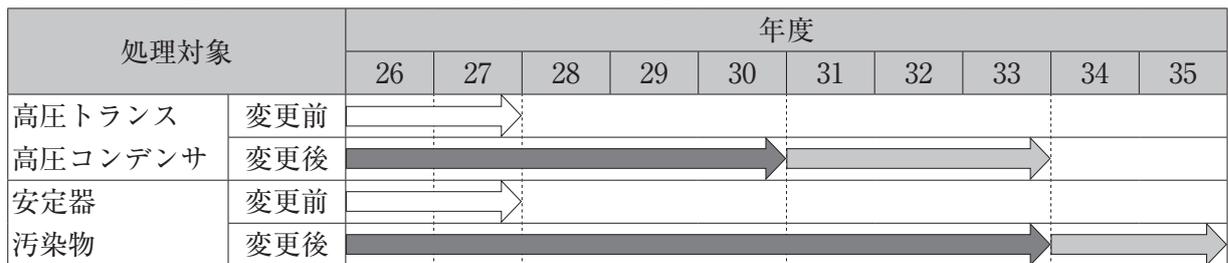
イ 早期処理完了のための取組

- ・ 更なる調査の実施による未処理事業者の把握、適切な指導の実施
- ・ 計画的かつ効率的なJESCOへの搬入方針の設定

ウ 低濃度PCB廃棄物の処理の方針

- ・ 県内で処理体制が整いつつあることから、処理業者に対しては安全かつ確実な処理の実施を、保管事業者に対してはPCB廃棄物特別措置法に定める処分期間内に処分を完了するよう指導

図：基本計画と県計画における高濃度PCB廃棄物の処理期間



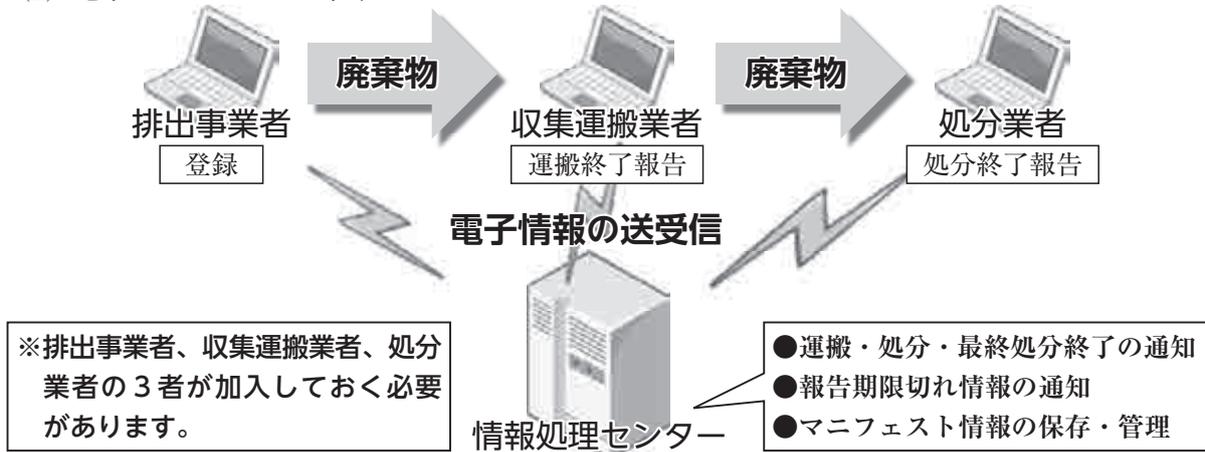
⇨ JESCO事業期間(変更前) → 計画的処理完了期限(変更後) ⇨ 事業終了準備期間(変更後)
 計画的処理完了期限：保管事業者がJESCOに対し処分委託を行う期限
 事業終了準備期間：把握できていないPCB廃棄物の処理、処理困難物の処理、事業終了の準備のための期間



電子manifestoを導入しましょう!

1 電子manifesto制度について

(1) 電子manifestoの仕組み



(2) 電子manifesto導入のメリット

- 事務処理の効率化**
 - ・ パソコン入力のため、紙への記入及び紙manifestoの保存が不要
 - ・ 画面上で廃棄物の処理状況が簡単に確認可能
 - ・ 都道府県知事へのmanifesto交付等状況報告が不要（電子manifesto利用分のみ）
- 法令の遵守**
 - ・ 法定の必須項目をシステムで管理しており、入力漏れを防止
 - ・ 運搬、処分、最終処分終了報告の有無を確実に確認可能
 - ・ 終了報告の期限が近づくと排出事業者に注意喚起
 - ・ manifesto紛失の防止
- データの透明性**
 - ・ manifesto情報は情報処理センターが管理・保存しており、セキュリティは万全
 - ・ 排出、収集、処分の3者が常にmanifesto情報を閲覧でき、不適切なmanifestoの登録・報告を防止

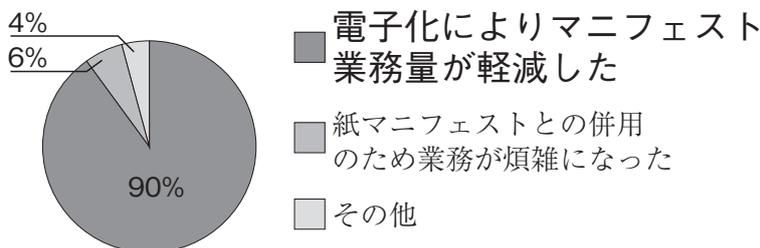
2 電子manifestoの運用による効果

(1) M社（製造業）における電子manifesto導入効果例

manifesto運用の労務工程		業務	
		紙 時間/年	電子 時間/年
1	manifesto発行業務	2,600	250
2	manifesto管理業務	500	150
3	manifesto交付等状況報告業務	300	0
合計		3,400	400

M社グループ全体
(30社)で…
3,000時間/年
約1,000万円/年
の削減

(2) JWNETのアンケート調査結果



全体の
約90%が
業務量が軽減した
と回答



その廃棄物まだ使えませんか??

～循環資源マッチング制度のご紹介～

1 循環資源マッチング制度とは

事業者の事業活動に伴って発生する廃棄物等のうち有用なもの（循環資源）を他の事業者が有効に利用できる場合があります。

しかし、循環資源に関する提供側の情報と利用側の情報がお互いに十分に把握できないことから、循環資源を有効に利用できるせっかくの機会を失っていることも少なくないと考えられます。

循環資源マッチング制度は、こうした循環資源を提供する事業者と利用する事業者をマッチング（あっせん）することにより、循環資源を有効に活用し、循環型社会の形成を推進していくための制度です。



2 制度の概要

本制度は、岡山県循環資源総合情報支援センターに指定された、公益財団法人岡山県環境保全事業団が運営しています。情報の最新性とスピードアップを図る観点からインターネットを活用しており、県民や事業者の皆様がインターネットを通して、循環資源に関する情報の検索、提供者と利用者の情報の登録、登録された情報の更新・削除等を行うことができます。

平成25年度末時点で270の事業所と398件の情報が登録されています。

平成25年度末時点

登録事業所数	譲ります情報	利用します情報
270件	257件	141件

3 利用方法と会員登録

ホームページの閲覧・検索は、どなたでも可能となっています。事業者の詳細情報、循環資源情報の登録、詳細情報の入手、あっせん等を目的として利用される場合は、登録が必要となります。（登録料は無料）

**登録
無料**

循環資源マッチング制度URL

<http://junkan.pref.okayama.jp/okayama3/contents/html/index.htm>

※御不明な点がございましたら、下記の問い合わせ先まで御連絡ください。

お問い合わせ先：岡山県循環資源総合情報支援センター

〒701-0212 岡山市南区内尾665-1 公益財団法人岡山県環境保全事業団内

TEL 086-298-2123 FAX 086-298-2496



「買い物にはマイバッグ持参」に御協力を！ ～マイバッグ運動～

みなさん、買い物の際にはマイバッグ（買い物袋等）をお持ちですか？

岡山県では、ごみの減量や地球温暖化防止のため、事業者、消費者・環境団体等や市町村と協力して毎月10日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定め、買い物の際にマイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする運動を全県的に実施しています。

「岡山県統一ノーレジ袋デー」には、スーパーマーケットやドラッグストア、ホームセンターなど約1,500事業者（店舗）が参加して、レジ袋削減に取り組んでいます。

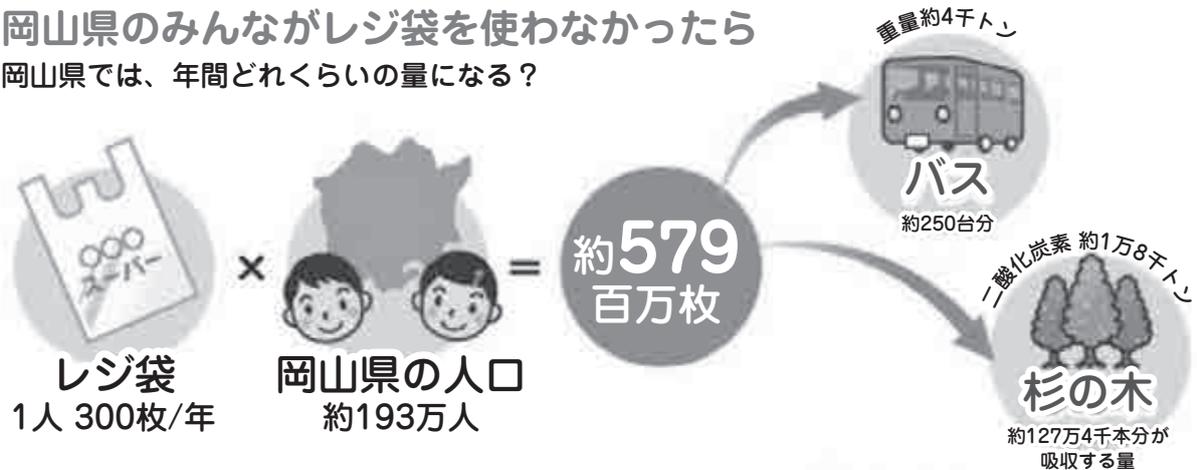
限られた資源を有効に利用し環境に負担をかけない社会にするためには、まず、ごみになるものを減らすことが大切です。

レジ袋の年間使用量は、1人当たり約300枚と言われ、使用後にはそのほとんどが「ごみ」として捨てられています。

レジ袋を当たり前のようにもらうことを見直して、私たち一人ひとりがごみを出さない買い物を心がけることは、ごみの減量だけでなく、地球温暖化の防止にもつながります。

暮らしの中で誰にでも身近にできる「お買い物でエコ」、ぜひ、御協力をお願いします。

岡山県のみんながレジ袋を使わなかったら 岡山県では、年間どれくらいの量になる？



県庁循環型社会推進課のホームページ（HP）に、「岡山県統一ノーレジ袋デー」参加事業者（店舗）のレジ袋削減の取組を掲載しています。

- ・ 環境のためレジ袋無料配布を中止
- ・ マイバッグ持参で、値引き、ポイント付与 等

買い物の際にお得なサービスもありますので、ぜひ御利用ください。

* 循環型社会推進課HP

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/30/>

- 「岡山県統一ノーレジ袋デー」に御協力をお願いします！【参加店募集中】
- 参加店舗で実施しているレジ袋削減の取組内容一覧



©岡山県「ももっち・うらっち」

神の島、 神秘の島

倉敷芸術科学大学
河邊誠一郎

娘の結婚式を沖縄北部リゾートで終え、翌日義息の里・沖永良部島へ挨拶に向かう予定が、台風通過の影響で行けなくなって空いた2日間、この機会に日本の中で最高の聖地・神の島と言われ、謎に満ちた久高島へ初めて訪れてみる気になっていた。その車中での話である。

その島に向かうタクシーの中で、運転手から注意された言葉が今でも耳に残っている。

“お客さん、島からは何も持ち出さんでよ。祟りがあるからね！以前、島の海岸の貝殻を記念に持ち帰った亭主がいてね、そのあと身内に不幸が頻発してしまったもんで、その亭主はその貝殻を急いで元の場所に返しに行ったという、そんな話はいっぱいあるんや！特に学校の先生が一番言うことをきかん！聞いつけてな！”と言葉を残した運ちゃん。

どうやらその島は本当に特別に神聖な島であるらしく、島民が大切にしている聖地に迂闊に踏み込んだり、海岸に転がっている神事に関係したような石や貝殻などを拾って持ち出したりすると、



港の岩場にも祈りの場が

それらには神が宿っているために、のちに必ず不幸が訪れるという。本人だけでなく、大切な家族にまで悪い影響を与えてしまうのだとか。

私自身は、科学者としてそのような言葉にほとんど惑わされることはない。“そんなの単なる脅し、迷信や！”と言い放つ私に対し、半ば信じ込んでしまった妻は、一抹の不安を感じたようで、すっかりテンションも下がってしまったようだった。

神の島・久高島へ

沖縄は信仰厚い島として知られている。先祖崇拜はじめ、ニライカナイ信仰も厚く、よそ者の伺い知れない独特の自然崇拜、先祖崇拜の気が島中に充ち溢れている。先般、そのような沖縄でも、最も重要な聖地である斎場御獄（セイファークタク）を訪ねた。鬱蒼と茂る亜熱帯の森の中、そこは一帯に神様の気配が満ち溢れていて厳粛な



明るい日差しの中、港から一路岬へ

気分させられる場所であった。その聖地の重要な場所とされる三角巨大岩のある御拝所から、正面に久高島が見晴らせ、その島は最も重要な信仰の場となっている。

そのような島に、地域に、観光気分でのこのこと入り込むわけだから、こちらはその行動は慎重であるべきなのは理解していた。

しかし、観光客対策として、こうあからさまに、しかも身内に不幸が及ぶなどと、運転手から脅されると多少の反発は感じてしまう。これまで科学の勉強をし、世の中理屈で解決できないものはないと思っている身にとっては尚更である。

20分ばかりのフェリーの旅から降り立った久高島は、台風一過、抜けるような空の碧さ、眩しいほどの白砂と紺碧の海、林の緑、華やかな花が溢れていて、我々の不安も少し薄れたものだった。

観光客大歓迎ではない島のこと、十分な宿泊施設もなく、我々は素泊まりのビジターセンターにやっかいになることとなった。

島全体どことなく神の気配が感じられる中、早速レンタサイクルでの探索に出かけた。

触らぬ神に祟りなし

港周辺に民家が点在する以外、大部分は神様の住む場所、神事のための場所であるらしく、島中央部を一直線に延びる道路（ニライカナイからやって来られる神様をお迎えするため？）があるだけで、普通の島に見られる周遊道路はない。その道を我々は快適に走った（走らせてもらった）。島の先端へ通じる道路のそばには、自給自足の為のわずかばかりの野菜畑が点在しているだけで、何でもない自然があるばかり。しかし、よく注意して見ると、あちこちに日く有り気な林（藪）があり（他の島で見られる人工物：御獄はない）、そのような場所には必ず、迂闊にこの中に立ち入らぬよう、さりげなく結界（サンゴの塊やスイジガイなど）が置かれていたり、更には、



神々がやって来られる砂浜 ウミガメも産卵に来る

不作法な観光客への警告の立て札もあった。

祭事の有る日々には、この1本道にさえ立ち入ってはならない厳しい決まりがあるとのことだったが（過去に、それを無視して立ち入り、こっそり写真まで撮った大芸術家が出て、大騒ぎになったこともあった・・神隠しも有り得るとか）、幸いその日は、神様が不在？寛容な日であったらしく、道の通行には支障はないようだった。

科学の徒・無信心の身でも、さすがにこの印しを無視する心境にはならず（家内からも厳しく諫められていた）、おとなしく離れた道端から敬意を表すだけだった。

神々しいまでの自然環境

神様がやってくるという岬からもどる道すがら、砂浜へ降りる小路を発見した。そしてその浜に立ってみて驚いた。そこにはこれまで見たいずれの海辺よりも素晴らしい、清々しいばかり



林の緑、赤いアダンの実、美しく白い砂浜と岩場



神事の場 滑らかなサンゴの床には思わず触ってみたいくなる丸い石、サンゴ、貝殻が

の砂浜、海、緑の自然が広がっていた。

いくつも赤い実を付けた見事なアダンの林があり、浜辺にはピンク色のグンバイヒルガオや白いハマユウの花が咲き乱れ、真っ白に広がるサンゴの浜辺には、あちこちに産卵の為に上陸した亀の足跡も見られた。そして、波で滑らかになったサンゴの岩場には、いかにも神事のあった場所とわかる気配が漂っていて、その神事で用いられたかと思わせる見事な丸石が、サンゴの塊が、貝殻が点々と転がっていて、思わず触りたくなくて、拾ってみたいくなるほどだった。

運転手から散々脅され、家内からは厳しく注意されていたものの、1つくらいは……そんな心の動きを察知したのか？家内の不安は最高潮に達していたのかもしれない。

しばらくこの大自然を満喫し、納得して元の道へと引き返す途中、小さな岩があった。この岩に上がり、次の岩へ飛ぼうと足を伸ばしたその瞬間、どうしてか？飛びきれなかった家内の足が、その岩と岩の隙間に落ち込んでしまった。太も

もは陥没し、見る見るうちに青あざが広がった。そのあまりの痛さに、きっと神様の罰が当たって、自分の足が折れてしまったのではないかと思っただけでなく、亭主の不心得を呪ったようだった！

幸い、軽い捻挫で済んだものの、その後しばらくは歩けず、散々な神の島滞在となってしまった。

帰りの船の中、隣に乗り合わせた、以前ノ口をしていたという島のオバアからも、あの運転手の言葉がまんざら出まかせでもないことを改めて聞かされた。

今の世の中、ほとんど全てのことが科学で説明され、解明も進んでいる。けれど、どうにも説明がつかない事象もまだまだ存在していて、霊の世界、心や気の世界を全否定することは出来ないととも思う。

そのような世界を信じ、信仰することによって心が洗われ、安らぎが得られ、快適な人生にすることも大切な事に違いないと、改めて思われた旅となった。

あとがきに代えて

大学2年の夏の1カ月間、いまだアメリカ施政下の沖縄から臨戦態勢の台湾へ探検旅に出たのが最初でした。ちょうど西表島で、新種のヤマネコが発見されかけていた時のことです。

その後、しばらく仕事に家庭に追われ探検からも遠のいていましたが、通産省のジャングルバイオプロジェクトを契機に、研究も自然環境対象となり、再び未知（秘境）の地域での有用・薬用動植物探索に取り組むようになりました。

また、世界の昆虫会の重鎮・西山保典氏に誘われて、それまで誰も足を踏み入れたことのなかった世界の秘境をも歩くことが出来ました。

以来30年以上にも亘って、一般の人がまず行くことのできなかつた日本の秘境、世界の秘境を旅してきました。 その様々な探検記録を、早稲田大学理工学部の宇佐美微生物研究室の大先輩にもなるエクスラン西大寺工場・小林裕社長（当時）のバックアップのもと、紀行文として書かせていただきました。 そのご縁で、18年前からは、当時理事、事務局長だった管尊士氏、渡辺伸一氏の

お世話で、本誌・クリーン岡山にも、その一端を書かせていただいたことに深く感謝しています。

どの地においても、永年に亘る人と自然との程良い関係が保たれていて、豊かで、心地よい自然の世界に身を置くことが出来たことは望外の幸せでした。

しかし、今、地球の上では、爆発的な人口の増加があり、それに伴う急激な開発と、市場経済最優先の施策、エネルギー開発と獲得競争があり、加えて、民族・宗教紛争も激化するなど、自然は荒れ、不毛で居心地の良くない地域・場所が増えてもいて、その行く末が案じられます。

この奇跡の星・地球に多くの生命が心地よく溢れ、みんなが幸せに生活できる美しい星として、いつまでもいつまでも受け継がれることを願います。

これからも、気力、体力、好奇心の続く限り、地球のために、社会のために、家族のために、そして自分自身のために、チャレンジしてゆきたいものと思います！

岡山県産業廃棄物協会と会員の皆さまの一層のご活躍を祈念いたします。

18年間、長らくのご愛読感謝いたします。



ユウナ
アダんとソテツ

貴重な植物が溢れる

イソマツ
ゲンバイヒルガオ



貝殻山クリーン作戦



実施日時 平成26年11月13日（木） 8:00～11:00

実施場所 岡山市南区飽浦地内 貝殻山線

参加者 総数 76名

環境省中国四国環境事業所 2名

備前県民局地域政策部環境課 3名

岡山市環境局環境事業課他 11名

岡山南警察署生活安全課 2名

甲浦学区町内会（宮浦、飽浦、北浦、郡） 28名

岡山西支部会員 30名

参加車輛 8tダンプ、4tダンプ、2tダンプ、軽四 計7台

回収廃棄物 16t（廃タイヤ、家電、家庭ゴミ等）

今年は、昨年の金甲山から貝殻山へ場所を移動して、一般社団法人岡山県産業廃棄物協会岡山西支部主催によるクリーン作戦を実施しました。

今回は、貝殻山山頂の駐車場に集合して、環境省の役田課長さんに開会の挨拶をお願いし、本日の作業手順を岡山西支部長の井上さんより説明していただきました。今回も山頂から下へと登山口から山頂へと2組に分かれて行きました。今年は事前調査で、不法投棄は昨年より少ないものと思っていました。ところが、目利きの皆さん斜面深く降りて、テレビ等の家電、廃タイヤ、ペットボトル等を回収し道路路肩にゴミの山となりました。巡回するダンプトラックに収集してもらい、特にゴミの多いところへは再発防止啓発看板を設置しました。

毎年、クリーン作戦をやっていますが、ゴミの量が減りません。地域の皆さんで監視し、適切に処分される日が来ることを強く望みます。

最後に、けが人などもなく安全に作業を終え、皆さんご協力ありがとうございました。



環境クリーン作戦実施

実施日時 平成26年11月26日（水）8：30～12：00
実施場所 和気郡和気町日笠上・父井原 2カ所
参加人数 31名（県職員5名、和気町職員2名、会員24名）
参加車両 2tユニック、3tゲート、8tヒアブ
回収廃棄物 廃タイヤ、冷蔵庫、テレビ等家電製品、空き缶、空き瓶、粗大ごみ

なんで、こんな場所に？なんで、こんな物が？

ダメよ～、ダメ、ダメ、捨てちゃ、ダメ！

前日は雨で、当日も雨の確立が高く、雨合羽も用意し、覚悟して参加しました。

ところが、やはり参加者の日頃の行いが、良かったせいか、結果として、午前中はなんとかもってくれました。

日笠上地区は、事前調査で、茂った笹竹の間に廃タイヤや空き缶、ビン、ペットボトルが大量に捨てられていましたが、事前に事務局有志が笹竹を刈ってくれていたおかげで、実行当日の回収作業は非常に効率よく行うことができました。

父井原では、吉井川の川岸で、結構急傾斜の下の方に、冷蔵庫、洗濯機、テレビ等の家電類が捨ててあり、回収物を引き上げるのに、とても苦労しました。



なぜ、タイヤが、空き缶やビンが、家電が、猫車までもが、わざわざこんな山奥の狭い道沿いに、なぜ、わ

ざわざ川岸の奥の方まで、捨てに来るのか？この作戦に参加すると、いつも思う疑問です。今回は全部で約12㎡の廃棄物を回収しました。

廃棄物回収作業後、不法投棄防止の看板を、双方に設置し、集合場所で分別して、全ての作業を終えました。

ご参加頂いた、皆様のご協力により、手際良く、事故、ケガもなく無事に終わることができましたことを感謝致します。ありがとうございました。



倉敷
支部

第21回 倉敷地域クリーン作戦

実施日 11月6日(木) 9:00~11:30

場 所 玉島長尾地内高速道路進入路下部

参加人員 45名

今回は高速道進入路下部に投げ捨てられた空き缶やペットボトルの回収が中心で機械などは使用せず
 投棄物運搬以外は全てが手作業でした。

作業箇所上部は道路が屋根代わりとなり雨などの心配は無く定刻には参加者全員が集合して室山支
 長の挨拶、岡本会長の来賓挨拶の後に現場説明を行い作業に取り掛かりました。

現場事前踏査を行い回収は空き缶、ペットボトル、タイヤ、不燃物、可燃物、その他と分別しまし
 たが予想以上の投棄物が雑草の中にあり準備していたトラックの荷台はすぐに一杯となりました。

予定した終了時刻にけが人などはなく、無事に今回もクリーン作戦を終えることが出来ました。



井笠 支部 第17回井笠地域環境クリーン作戦実施

日 時 平成26年11月7日（金）
実施場所 井原市 国道313号線両歩道及び関連道
参加人数 42名（協会員23業者33名 外部協力者9名）
回収量 可燃ゴミ・不燃ゴミ あわせて100キロ
処理方法 井原市役所にて分別処理



今年は例年の活動により井笠地域に目立った不法投棄の報告がなかった為、R313号線両歩道及び関連道の清掃活動を行ないました。

県・市職員の方々や地域の住民の方々にもご参加頂き、空き缶、ペットボトル、傘、空きビンからタバコの殻まで約2時間の清掃活動を致しました。

この日、集められたゴミの量は100キロでした。今後も継続的に地域環境美化活動を行なうと共に不法投棄がなくなり、こうした活動が、不要になる日まで、共に頑張りたいと思います。

最後に、お忙しい中ご参加くださった大勢の皆さん、ご協力ありがとうございました。



備北

支部

揃いの青ジャンパーでアピール



クリーン作戦当日は昨年と違い雨ではなく曇りでした。ただ10月下旬とはいえすこし肌寒い天候でした。

今回のクリーン作戦も昨年に引き続き、高梁市主催の「環境フェアinたかはし2014」に合わせての高梁川流域のクリーン作戦でした。

高梁市・高梁市教育委員会・高梁川流域連盟、環境衛生協議会、市内の小

学生などすべての人が参加しての作業で協会員併せて約200名での作業となりました。

今回も協会員は備北支部クリーン作戦用の青ジャンパーを着用での参加でした。

産廃協会員の参加者は8社19名と大勢の協会員に参加いただきました。

このジャンパーのおかげで誰がどこにいるのか一目瞭然で艶やから青色ジャンパーが協会員の参加をさり気なくアピールすることも出来ました。

収集エリアは落合橋から方谷橋の高梁川沿いの高梁川流域の川沿で行われました。

川沿いは参加の小学生が捻挫をするほど川原の石が丸いため足場が不安定でしたが、大きな事故もなく無事、午前中に終了しました。

拾ったゴミは空き缶、コンビニ弁当などの可燃物が約200キロ、タイヤ、自転車など不燃物が約100キロほどありましたがあっという間に用意したトラック、パッカー車一杯となりました。

昨年に引き続き今年も今回参加人数が多くまた参加者の皆さんの手際のよい作業のためあっという間に川沿いはきれいになりました。

この高梁市主催の高梁川流域のクリーン作戦は毎年行われますので協会も引き続き参加させてもらうようにしていきたいと思えます。

今回は地域の人々の協力のもと事故もなく無事クリーン作戦が終了することができましたことに改めて感謝申し上げます。



津山

支部

第20回 津山地区環境クリーン作戦

実施日時 平成26年11月19日（水） 8：30～12：00

実施場所 津山市一方南地区

回収量 可燃物（プラ）、不燃物（家電ほか）、古タイヤ 計6.7t



今年のクリーン作戦は津山市一方南地区にて行われました。当日は美作県民局から7名、津山市清掃局から9名、地元の方が28名、そして支部会員26名の総勢70名が参加しました。今年は特に地元からの参加が多く、「やっこの地域をきれいにできる、ありがとう。」とわざわざ言っただけの方もおり、協会のこの活動が地域の皆さんの役に立っているのだと改めて感じました。多少の寒さを感じる晴天の空の下、8：30より開会式を行い、ラジオ体操で体をほぐした後、3チームに分かれ作業を開始しました。

神南備山展望台近くの山道沿い約1、5キロにわたり、かなり谷深くまでビン、缶、衣類、廃家電、そして古タイヤといったものが折り重なっている状況で、かなり前から不法投棄が続いていたことが推測できました。まずはロープを支えにゆっくりと斜面を下り、回収作業を開始しました。ある程度ゴミ袋がたまったら、大きなフレコンバッグに詰めて、ユニック車で上まで引き上げました。今回の現場はかなり傾斜がきつく、また乱立した木々に作業を阻まれる中安全に作業を進めたため、思いのほか多くの時間を要しました。

この日は可燃物（プラ）、不燃物（家電ほか）、古タイヤなど計6.7tを回収し、会員各社からご協力いただいたトラック、ユニック車に載せ、12時頃作業は終了しました。来たときは、ゴミで埋め尽くされた山林でしたが、元の美しい自然に戻すことが出来ました。

作業終了後は現場近くの神南備山展望台で昼食をとりました。そこは津山市内を一望することができる場所であり、「なぜこのような場所に不法投棄をしてしまうのだろうか。」と悲しい気持ちになりました。不法投棄をすれば、一時的にはゴミが手元から離れますが、結果的に山中や海などを汚染し、私たちにかえってきます。今後不法投棄がなくなり、すべてのゴミが適切な方法で処理されることを願います。

ご参加下さった皆さん、ありがとうございました。



青年部会 全国産業廃棄物連合会 青年部協議会 第9回全国大会 中部大会 in 名古屋

継承と進化へ新たななる挑戦!



平成26年11月21日（金）に全国産業廃棄物連合会青年部協議会主催の第9回全国大会が愛知県名古屋市ウエスティンナゴヤキャッスルにて開催されました。参加人数は、約600人で岡山県青年部も約15人参加しました。

4年前より始めた「CSR2プロジェクト」の集大成とし「CSR2プロジェクト継承と進化」をテーマに各地域ブロックによる活動、各都道府県での環境教育報告などをVTRを交えての発表でした。

式典が終わり大懇親会へと移りました。大懇親会では、各地域ブロックの表彰が行われ、中国ブロックは、環境学習をテーマにし、子供から大学生へと進化した発表を行い、おしくも準優勝という結果でした。木下副会長は、今回は、東北の地で優勝すると意気込み勢いよく飲まれ、会長はお酒に溺れて・・・。



CSRプロジェクト準優勝のあいさつ



次回、東北ブロックでの開催、決意表明!!!

青年部会 会員募集

～ネットワークの構築・自己啓発・次世代の育成～

青年部会 会長 藏本 悟

楽しくローディライフを満喫

片岡 重治

岡山西支部の片岡です。

今回、某先輩の命令により趣味のページに投稿という大役を仰せつかりました。

さて、わたくし40才後半にして新たに趣味を見つけました。

その経緯について書いてみました。

青年部を卒業後、もう見た目も体型も立派なオヤジそんな中高年のお年頃になると気になることが増えてくるもんですね。

その一つが、健康についてのコト。

今年の始めに会社の健康診断を受診したときのことです。

毎回同じ病院で受けているので、過去のデータと比較できるのですが、体重は増加し、身長は縮み、血液検査においてはコレステロールは上限値を突破。

更に今回は癌の疑いもあるとの検査結果でした。幸い、癌の疑いは再検査で直ぐに晴れましたが、結果が出るまでの間に思うことがありました。

若い時には考えなかった健康管理についてです。お酒は飲むし、タバコは辞めないし、運動はこれといってやってないし〜と超不健康状態な私。

何か体に良い事を始めようと 一大決心。

それが、ロードバイク です。

自転車的一种なんですが、これが けっこうお高い品物。

私のお小遣いの範囲では手ができません。

嫁さんの『2台あっても同時に乗れないでしょ』の手厳しいお言葉に長年愛用していたバイクを手放し、それを元手に購入。

高価な自転車にした理由の一つに、自分を追い詰め 『もう後戻り出来ないぞ』ようにという決意を課すためでもあ



りました。

そして、昭和体型の私に合わせ出来上がったのがこれ！

室内でもトレーニング出来るように専用の固定台も購入。

これで、嫁のダイエットにもなるとの やさしい夫の心遣いは伝わっているのかは疑問ですが…。部屋コギを続け、体力アップを計るコト一ヶ月。いざ、初のロングライドと決め込むのでした。

選んだ先は小豆島。

超初心者の私には初小豆島の坂はキツイライドとなりましたが、島一周後は、久々に味わう達成感で大満足でした。

走っている間には、無の境地（走る事でイッパイ×2）も味わえますよ（笑）。

車やバイクでは決して味わえない独特の高揚感がそこにはありました。

今では仲間も増え、天気の良い週末は決まってツーリング。

行った先々のご当地料理を頂くのも楽しみの一つとなっています。

まだ始めて4ヶ月程ですが、体重も少し減り、体脂肪率も20%を切る勢い。来たる50才台に向け、体調管理・体力作りに楽しく取り組んでいます。皆様も何か体に良い事をされていると思いますが、まだのお方、自転車を候補の一つに取り上げてみては如何でしょうか？

冒頭で出てきた 某先輩さんも実はローディーさんです。

産廃協会の趣味の会『チャリンコ部』なんてのもあったら楽しいかもしれませんね。

おしまい



～事業報告 宿泊研修～

北海道の視察研修に参加して♪

平成26年10月23日から25日にかけて、北海道の道南地域で産業廃棄物のリサイクルに先進的に取り組んでいる3社を視察しました。参加者22名

最初に訪問したのは札幌市にある 「北清企業株式会社」

一般廃棄物処理事業に併せ、廃石膏ボードからのライン引き粉の製造、可燃系廃棄物からの固形燃料の製造等に精力的に取り組んでいる地域密着型のモデル企業で、ライン引き粉は国内大手企業で、固形燃料は札幌市の地域暖房として使用されており、最近では富良野市において、紙おむつを破碎滅菌処理し再生燃料を製造するリサイクル事業も手掛けています。循環型社会・低酸素型社会に貢献する企業を目指す、北海道産廃協会の青年部会長でもある大嶋社長さんありがとうございました。



北清企業にて

次に訪れたのは、東広島市にある 「環境開発工業株式会社」

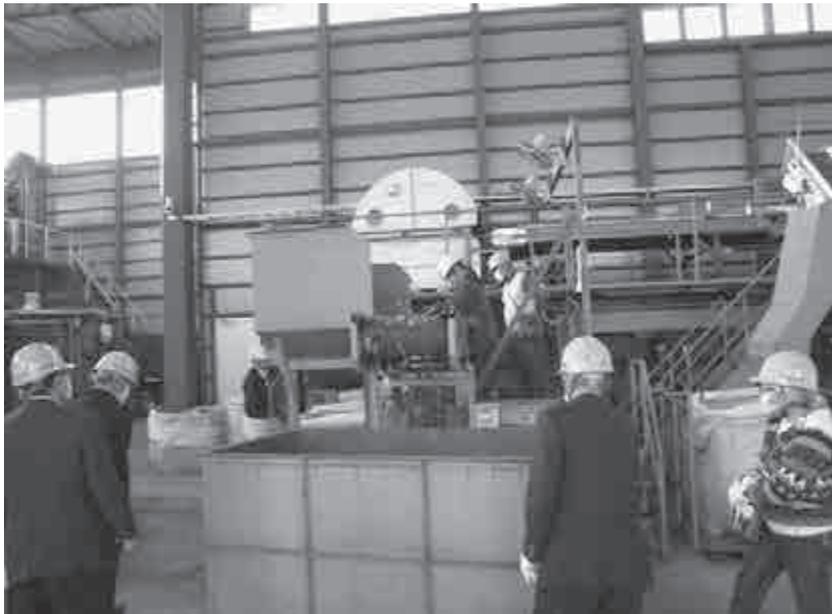
廃油回収事業に併せ、OA機器のリサイクルやオイルエレメント、遊技機、消火器、複写機トナー等の処理困難物と言われている廃棄物のリサイクルにも創意工夫で取り組んでいる環境企業で、全国的にも珍しいオイルエレメントの切断分離施設や消火器の回収施設を見ることができました。回収率100%のリサイクル事業を目指す山田社長さんありがとうございました。



環境開発工業にて

最後に訪問したのが、函館市にある 「株式会社クロダリサイクル」

金属回収事業に併せ、家電や自動車、廃船等のリサイクル回収、セメント会社とのコラボによるシュレッダーダストの固形燃料化事業に取り組んでいる先進的な企業で、私たちが事業所に着いてまず驚かされたのが入り口の門にモニュメントとして置いてある大きな船のスクリューでした。先日まで青函連絡船の廃船処理をしていたそうで、事業場のスケールの大きさと手入れの良さに感動を覚えました。グローバルな視野で事業に取り組んでおられる佐野社長さんありがとうございました。



クロダリサイクルにて

札幌から函館まで移動中に触れることができた 「北海道の自然や街の環境」

- ・札幌市内の家は寒さ対策のため小さい部屋で作っている。暖房設備と燃料代は収入に応じて市が補助しているとのこと。
- ・室蘭から函館に向かう道央線沿いに風力発電施設があった。北海道は風力発電が盛んな地で日本海側が主流であるが、太平洋側でも伊達ウインドファームなど地域での取り組みが行われている。
- ・洞爺湖は、環境サミットで有名な地であるが、湖周辺では有珠山の火山灰を埋立処分するための公園整備事業が行われている。
- ・函館市の函館山を中心とした町並みは、斜面に建つ家屋はロシア・ウラジオストク港のスタイルにならうように決められ、2階の外観のみ洋風で内部と1階は和風である和洋折衷建築が多い。



おわりに

北海道の視察では、視察先企業をはじめ北海道産業廃棄物協会の方々には大変お世話になりました。広大な土地とリサイクル市場を有する（開拓する）北海道ならではの事業に触れることができ、大いに参考となりました。

～事業報告 日帰り視察～

平成26年度優良施設日帰り施設研修会



岡山県産業廃棄物協会の日帰り施設研修会が11月19日（水）に行われました。本年度は香川県直島町にある「香川県直島環境センター」と「三菱マテリアル(株)直島製錬所」を訪問し、視察研修させていただきました。

バス二台で岡山駅西口を出発し宇野港へ、フェリーで直島へと向かいました。直島は岡山県玉野市の南約3kmの位置にあり、宇野港から見える一番近い島です。バスごと乗船し、船から見える三井造船や三菱マテリアル(株)の工場を眺めながらおよそ20分で到着。第一の視察先は香川県直島環境センターです。

まず会議室で豊島問題とこの中間処理施設のビデオを鑑賞した後、施設を案内していただきました。香川県直島環境センターは隣の豊島で問題になった産業廃棄物の不法投棄問題の解決を目指して建設されました。不法投棄問題とは、豊島に1975年から十数年間にわたり、有害産業廃棄物（シュレッダーダスト、鉛滓、汚泥等）が不法投棄された事件です。不法投棄された産業廃棄物は、汚染土壌を含めて約50万m³、約56万tにもものぼるそうです。豊島の廃棄物をコンテナダンプトラックに積み込み、フェリー型の専用輸送船「太陽」によって1日2回計600t直島の中間処理施設に運び込まれ、破碎機で細かくして粗選別されます。次に焼却溶融炉で可燃物は焼却、その他は溶融処理をしますが、一度に入れて焼くのではなく、1300度の炉の中へ細かくした物を少しずつポロポロと落とすことで、その間に溶けてしまうそうです。炉は回転しているので1ヶ所に固まることはないとのこと。その後、冷却、バグフィルターなどで分離、銅やアルミ、スラグなど大まかに分けられます。その過程で生じた飛灰や金属は、三菱マテリアル(株)直島製錬所で有害金属の回収を行い、溶融スラグは土木用材料としてリサイクルされるようです。

次は三菱マテリアル(株)直島製錬所を見学させていただきました。製錬所なので鉱石などから金や銅を製錬することを主な事業としていますが、今回は廃棄物から有害金属をリサイクルする施設を見学しました。ここでは自動車・廃家電のシュレッダーダストや直島環境センターから選別された金属や溶融飛灰を有害金属として再資源化する施設になっているそうです。

直島は、地元住民の方々や事業者、行政が一体となって、環境調和型まちづくり“エコアイランドなおしま”プランに取り組んでいます。今までは大量生産、大量消費、大量廃棄の社会経済活動でしたが、今後は環境負荷が少なく、持続的発展が可能な循環型社会を目指すべく、理解を深めることが一層大事だと強く感じました。

ここで今回の施設研修は終了し、残りの時間を利用して直島の町の中の古い民家を使用してアート作品を展開している家プロジェクト、地中美術館等を観光させて頂きました。最後に岡本会長をはじめ、参加会員各社と事務局のご協力により無事視察研修旅行が終了したことを感謝致します。



「第13回 産業廃棄物と環境を考える全国大会」に参加して

大塚 雅 司



平成26年11月7日に、岩手県盛岡市で行われた「第13回 産業廃棄物と環境を考える全国大会」に出席して来ました。岩手県は過去、県境の大規模不法投棄事件と東日本大震災をへて、大変困難な状況の中、環境と復興の再生に取り組んで来た経験を持っています。全国から500人余りの会員が集まり熱気のある大会でした。

プログラムとしては、まず、長年にわたり産業廃棄物処理業界の顕著な功績が認められた全国14名の方々が「平成26年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰」を受賞されました。

基調講演は「廃棄物からみた社会システム～災害廃棄物を中心に」と題して京都大学環境安全保険機構付属環境科学センター長の酒井伸一先生に講演をいただきました。循環型社会の定義から災害廃棄物の処理の重要性、また、東日本大震災の後の巨大地震対策まで、分かり易く説明していただきました。

パネル討論会では、「環境再生そして循環型社会への挑戦」と題してコーディネーターに青森・岩手県境不法投棄現場の現状回復対策協議会会長、また、東日本大震災の復興にご尽力されてきた岩手大学名誉教授 齋藤 徳美先生に、また、環境省・岩手県・地元企業の4名の方々がパネリストを務められ、岩手・青森県境への廃棄物不法投棄事件の発生から現在の状況、東日本大震災に伴う甚大な被害と復興、優良従事者育成の新たな取り組み等、熱心に議論されました。

岩手県はそろそろ紅葉も散り始めて、朝晩非常に寒かったですが、良い天気にも恵まれて終わることが出来ました。

～全産連の動き～

平成26年度第2回中国地域協議会の概要

昨年10月29日、鳥根県松江市において、正副会長等会議が開催されました。来賓として全国産業廃棄物連合会（以下「全産連」という。）の香川部長、全国産業廃棄物連合会政治連盟（以下「全産連政治連盟」という。）の國中理事長、オブザーバーとして岡山県協会の藏本顧問と広島県政治連盟の川本理事長、また議題説明者として中国四国地方環境事務所廃棄物リサイクル対策課の役田課長に参加していただき、活発な意見交換等が行われました。

今回は、議題のうち今我々業界を取り巻いている大きな2つのテーマについて事務局から紹介します。

1つ目は「中国ブロックにおける災害廃棄物対策の連携について」です。

環境省では、東日本大震災の経験を踏まえ、全国各ブロックで災害廃棄物対策の連携強化を図る事業を実施しており、中国ブロックでは中国四国地方環境事務所が事務局となり10月30日に「災害廃棄物対策中国ブロック協議会」設立の第1回会議が開催され、今後、災害廃棄物に関する情報の共有、大規模災害時の災害廃棄物対策に関する連携の検討及び関連調査等が実施されます。構成メンバーは、行政機関として県市、環境省中国四国地方環境事務所、国交省中国地方整備局、有識者として岡山大学、国立環境研究所及び日本環境衛生センター、関係団体として全産連中国地域協議会及び中国経済連合会です。

なお、中国地域協議会では、幹事県が代表して会議に出席し、必要に応じて各県協会も参加する方向で対応しており、今後の情報につきましても会員の皆様に提供していきたいと思っております。

2つ目は「産業・資源循環議員連盟の発足について」です。

全産連では、産業廃棄物業界の様々な要望を国の政策に反映させるため、政治活動団体として全産連とは別に全産連政治連盟を組織し、今まで廃棄物処理法改正等に取り組んできました。近年、廃棄物問題は適正処理とともにリサイクルの推進が大きな課題となり、循環型社会形成に向けた様々な取り組みが進められ、産業廃棄物業界も大きな転換期を迎えています。このような中、東日本大震災が発生し、災害廃棄物処理体制の重要性が再認識され、新たな局面を迎えています。

今まで産業廃棄物処理業者は、単に排出事業者の委託処理業者として位置付けられ、地域社会で果たしている役割を十分認識してもらえない状況にありましたが、これから国が進めていく循環型社会の構築や災害廃棄物の処理体制整備において、産業廃棄物業界が重要な役割を担っていくことを明確にした法制度作りを国に働きかけていく必要があることから、全産連と全産連政治連盟は、関係自民党国会議員と調整を重ね、10月14日、丹羽雄哉衆議院議員を会長とする議員連盟が発足したところです。

今後、この議員連盟による枠組み作りが進められることから、全産連では法制度委員会の中にタスクフォース（作業部会）を設け具体的な要望事項を取りまとめていくとともに、全産連政治連盟では、政治活動団体の組織強化のため地方レベルでの政治連盟の設立を各都道府県協会にお願いしています。

なお、岡山県協会においては、藏本顧問を中心として、今後、理事会等で検討していくこととしています。

紹介 新規入会正会員

有限会社烏城管工

代表取締役 杉野 裕司
〒701-0206 岡山市南区箕島574-2
電話 086-259-3541
【岡山中央支部】収集運搬業

弘栄興業

高木 弘則
〒714-0007 笠岡市山口1778-3
電話 0865-65-3580
【井笠支部】収集運搬業

事務局だより

♪事務局のメンバー紹介♪

平成27年1月から事務局のメンバーが変わりました。

役職	氏名	主な担当業務
事務局長	岩本 充博	役員会、全体業務の総括
事務職員	西村 麻里子	庶務、経理、マニフェスト等
事務職員	神田 典子	組合事務、会議、研修会等
事務職員	正司 佳美	許可講習会、入会事務、青年部会等

マニフェスト購入や許可講習会のお問合せ等は、事務局全員で対応させていただきます。

♪平成27年3月までの講習会・研修会のご案内♪

実施日	名称	会場
H27.02.05	収集運搬業更新許可講習会	岡山商工会議所
H27.02.06	特別管理産業廃棄物 管理責任者講習会	岡山商工会議所
H27.02.10	電子マニフェスト研修会、個別相談会（第1回）	岡山県生涯学習センター
H27.02.13	青年部会研修会	岡山国際交流センター
H27.02.17	実務担当者研修会（第1回）	テクノサポート岡山
H27.02.24	実務担当者研修会（第2回）	テクノサポート岡山
H27.03.03	電子マニフェスト研修会、個別相談会（第2回）	岡山県生涯学習センター

それぞれご案内しますので皆様ふるってご参加ください。

♪平成27年版会員名簿の作成♪

現在新しい会員名簿を作成しています。会員の皆様のご協力をよろしくお願いたします。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年は乙未（きのとひつじ）年です。乙未は従長した草花であり、何かの支えがなければ自らの重さに耐えきれずに倒れてしまう状態を指します。よって今年は、伸び過ぎて倒れてしまいそうな人や集団・現象にスポットが当たることが多くなりそうです。前回の乙未年である60年前の1955年は、国内政治では55年体制が始まり、昭和の大合併が進んだ年です。今年は経済再生を目指すアベノミクスの正念場を迎えようとしています。

我々は、そういった政治的なものに流されないように、しっかりと足元を見ながら頑張らしましょう。

本年会員皆様にとって良い年になりますようご祈念申し上げます。

(M.I)

会報・くりん岡山 第51号

平成27年1月31日 発行

発行 一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152 岡山市北区津高628-6

TEL 086-254-9383 FAX 086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

日本エクスラン工業株式会社

西大寺工場

取締役工場長 西田良祐

〒七〇四一八一九四

岡山市東区金岡東町三一三一

電話（〇八六）九四二一九八四〇

株式会社石原工務店

代表取締役 石原孝

〒七〇四一八一九三

岡山市東区金岡西町八〇一一

電話（〇八六）九四二一五一五一

内海産業株式会社

代表取締役 松本俊成

〒七〇四一八一九四

岡山市東区金岡東町二一一九一二七

電話（〇八六）九四八一二二三七

株式会社日本資源開発社

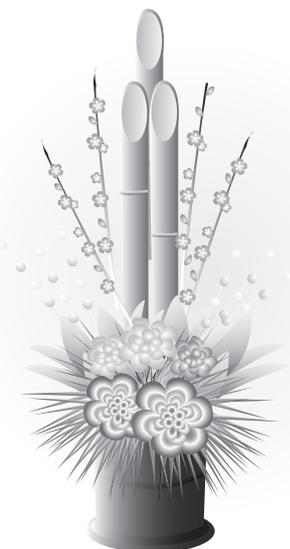
代表取締役 林茂樹

〒七〇九一〇六〇七

岡山市東区浦間一一〇二

電話（〇八六）二九七一二三二八

謹賀新年



牛窓港湾運輸株式会社

代表取締役 田中三春

〒七〇二一四三〇一

瀬戸内市牛窓町長浜四九五九一二

電話（〇八六九）三四一四九七八

野崎産業株式会社

代表取締役 野崎剛正

〒七〇四一八一九四

岡山市東区金岡東町二一一四一三三

電話（〇八六）九四二一三六五一

株式会社野崎運輸機工

代表取締役 野崎文夫

〒七〇四一八一九四

岡山市東区金岡東町二一一四一三三

電話（〇八六）九四二一三三八一

アサヒプリテック株式会社

代表取締役 東浦知哉

〒七〇四一八一九三

岡山市東区金岡西町一一五七一

電話（〇八六）九四八一四一七〇

ナカウン株式会社

〒七〇三―八五八〇
岡山市中区倉富三四〇―一八
電話（〇八六）二七七―四一四〇

明和建設株式会社

代表取締役 黒田正義
〒七〇九―〇六三一
岡山市東区東平島一三九七
電話（〇八六）二九七―三七三七

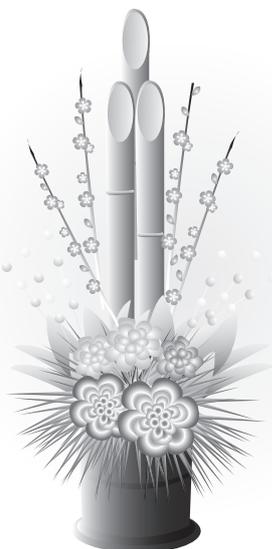
新岡山陸運株式会社

代表取締役 木下聖士
〒七〇二―八〇〇五
岡山市中区江崎七四六―三
電話（〇八六）二七六―一一一一

株式会社ニシテック

代表取締役 西本智
〒七〇九―〇六三五
岡山市東区草ヶ部一一七一―一
電話（〇八六）二九七―〇九八五

謹賀新年



有限会社岡一総業

代表取締役 頼礼
〒七〇三―八二六六
岡山市中区湊一三六三―一八
電話（〇八六）二七四―五七三九

有限会社藤田商店

代表取締役 藤田晃二
〒七〇三―八二八六
岡山市中区旭東町二一〇―一五
電話（〇八六）二七三―〇〇〇三

有限会社 リサイクルセンター平島

代表取締役 筒井邦典
〒七〇九―〇六三一
岡山市東区東平島二七一一
電話（〇八六）二〇六―一二三五

備前鋼業有限公司

代表取締役 藤井研一
〒七〇一―四二二四
瀬戸内市邑久町本庄八一―一二
電話（〇八六九）二四―一五九二

株式会社岡清組

代表取締役 藤井 武士

〒七〇〇一〇八六六
岡山市北区岡南町二一五一七
電話 (〇八六) 二三三―七二三〇

有限会社片岡久工務店

代表取締役 片岡 重治

〒七〇二一八〇三三
岡山市南区福富東二一七一―一三
電話 (〇八六) 二六三―二〇一〇

泉建設株式会社

代表取締役 泉 正昭

〒七〇二一八〇一三
岡山市南区飽浦一二二六
電話 (〇八六) 二六七―五三三三

岡山砒油株式会社

代表取締役 谷 清一

〒七〇二一八〇四五
岡山市南区海岸通二丁目六一―一三
電話 (〇八六) 二六四―六八六六

謹賀新年



栄光テクノ株式会社

代表取締役 堀川 英治

〒七〇〇一〇九四三
岡山市南区新福二一七一―二〇
電話 (〇八六) 二六五―一二三四

小野建設株式会社

代表取締役 小野 勝己

〒七〇一―一二〇五
岡山市北区佐山一三六四―一三
電話 (〇八六) 二八四―七二六一

中野開発株式会社

代表取締役 中野 治

〒七〇一―二一四二
岡山市北区玉柏七五
電話 (〇八六) 二二九―二三一六

株式会社西日本マックス

代表取締役 松田 千歳

〒七〇二一八〇一―
岡山市南区郡三〇〇〇
電話 (〇八六) 二六七―九九五五

有限会社吉備環境設備

〒七〇一〇一〇一六五
岡山市北区大内田一三六七―一
電話（〇八六）二九三一〇五二四

株式会社西日本アチュイ

マツトクリーン
代表取締役 藏 本 忠 男
〒七〇三一八二四五
岡山市中区藤原五〇―一
電話（〇八六）二七二一八〇四二

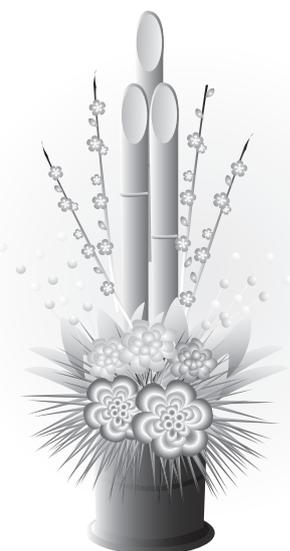
株式会社デベロップ岡山

代表取締役 田 口 睦 青
〒七〇一〇二二二三
岡山市南区中畦二一八―三
電話（〇八六）二九八―三一二五

有限会社岡山清掃

代表取締役 惣 市 卓 久
〒七〇一〇二〇二二
岡山市南区山田一〇七二
電話（〇八六）二八一―〇八九〇

謹賀新年



有限会社吉美

〒七〇一〇一六五
岡山市北区大内田一三六七―一
電話（〇八六）二九三一〇五二

有限会社豊田建運

代表取締役 豊 田 眞 爾
〒七〇九一〇七〇四
赤磐市沢原一五五二
電話（〇八六）九九五―〇〇〇一

日生運輸株式会社

代表取締役 伊 賀 資 耕
〒七〇五一〇〇三三
備前市伊里中五八八―一
電話（〇八六九）六七―一〇〇〇

コーワン株式会社

代表取締役 寺 尾 俊 郎
〒七〇五一〇〇二二
備前市東片上五〇―一
電話（〇八六九）六四―三三三三

株式会社サンヨー・ファイル

代表取締役会長 山田 英基
代表取締役社長 山田 宗煥
〒七二一八二二一
倉敷市玉島阿賀崎一五七五一一
電話 (〇八六) 五二二一二五七二

クラレテクノ株式会社

倉敷営業所
所長 石坂 和彦
〒七二一八五五〇
倉敷市玉島乙島七四七一
電話 (〇八六) 五二五一二二二八

協同組合

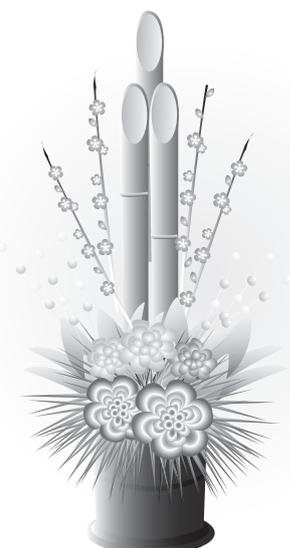
倉敷市環境保全協会

代表理事 金本 護
〒七二一〇一〇三八
倉敷市新田二二三二二一八
電話 (〇八六) 四二二一七三七一

株式会社高谷建設

代表取締役 高谷 耕治
〒七二一〇九三六
倉敷市児島柳田町二二三二六一四
電話 (〇八六) 四七三一一三六二四

謹賀新年



株式会社フルカワ商事

代表取締役 古川 悦生
〒七二一〇一〇八三五
倉敷市四十瀬三四三一三
電話 (〇八六) 四二四一八〇二〇

株式会社ビーシー工業

代表取締役 富本 敬三
〒七二二一八〇五一
倉敷市中畝九一一二一三七
電話 (〇八六) 四五六一三四二二

NIK環境株式会社

代表取締役 吉田 栄一
〒七二一一〇九〇七
倉敷市児島上の町一一九一六七
電話 (〇八六) 四七二一一八二八

内田工業株式会社

代表取締役 内田 航
〒七二二一八〇五二
倉敷市松江三一二一四六
電話 (〇八六) 四五六一五八八八

株式会社日住

代表取締役 高橋 幸一

〒七一九一〇二五四

浅口市鴨方町六条院東五〇九

電話（〇八六五）四四一七八八八

株式会社平松運輸

代表取締役 平松 敬史

〒七一六一〇二〇七

高梁市川上町仁賀六二七

電話（〇八六六）四八一三五八八

山陽環境開発株式会社

代表取締役 岩元 博

〒七一八一〇〇〇三

新見市高尾二三〇四一

電話（〇八六七）七二一五四一五

株式会社三好組

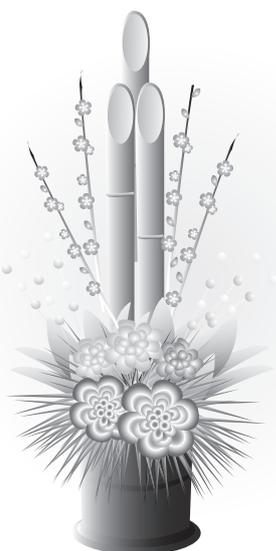
代表取締役 三好 員弘

〒七二四一二二五

小田郡矢掛町中一七〇

電話（〇八六六）八二一〇五二二

謹賀新年



有限会社藤充建設工業

会長 藤原 浩司

〒七二五一〇〇一九

井原市井原町三五五七一二九

電話（〇八六六）六二一〇七二二

唐川建設株式会社

代表取締役 唐川 昌己

〒七一九一〇一〇六

浅口市金光町地頭下八五五一五

電話（〇八六五）四二一四八四九

山陽興産株式会社

代表取締役 大本 修身

〒七一六一〇〇四五

高梁市中原町一五四二一六

電話（〇八六六）二二一〇三五

株式会社三美産業

代表取締役 妹尾 芳訓

〒七一六一〇二〇三

高梁市川上町三沢四三四二一二

電話（〇八六六）四八一二八七八

株式会社岡勝

代表取締役 佐藤 照恵

〒七〇八一〇八五一
津山市新田一九三―四
電話（〇八六八）二六―四四二三

坂田砕石工業株式会社

代表取締役 近堂 申洋

〒七〇九一三六三三
久米郡久米南町山手六四五
電話（〇八六八）七二八―二八一

株式会社新岡山工業

代表取締役 田口 芳美

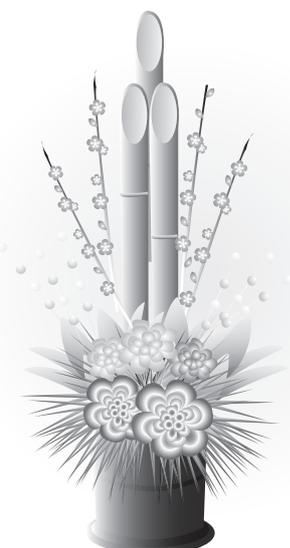
〒七〇八一―一五二三
久米郡美咲町吉ヶ原火の谷一〇八〇
電話（〇八六八）六二―二七七五

末沢建設株式会社

代表取締役 末沢 由博

〒七〇八一―二二二六
津山市押入二二二九―七
電話（〇八六八）二六―二七三

謹賀新年



中国防災工業株式会社

代表取締役 原田 明彦

〒七〇八一―〇三二七
苫田郡鏡野町土居二四九―一
電話（〇八六八）五四―〇一三六

有限会社久米産業

代表取締役 有本 英輔

〒七〇八一―一五三四
久米郡美咲町藤原四六八―七
電話（〇八六八）六二―二二七五

株式会社ユアツク

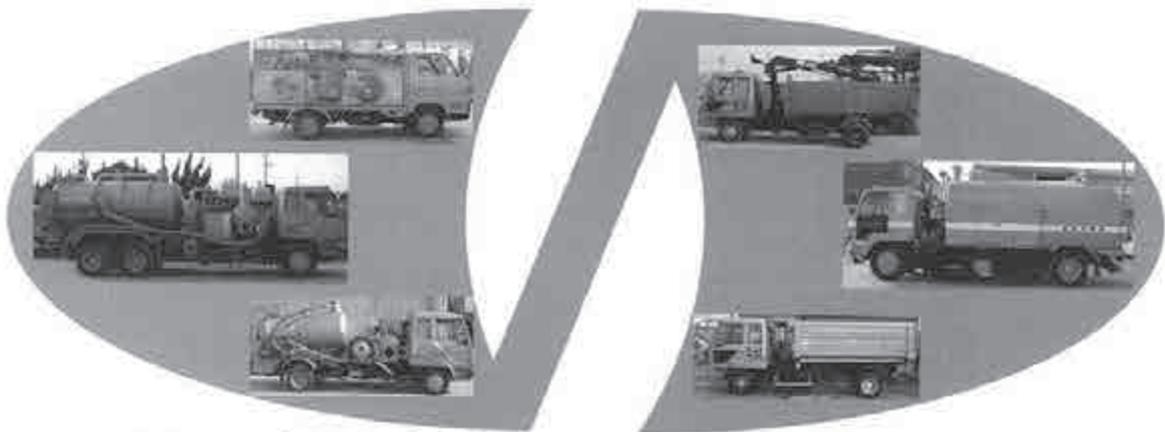
代表取締役 赤本 裕

〒七〇八一―一五二三
久米郡美咲町吉ヶ原三九三―二
電話（〇八六八）六二―一五〇〇

株式会社廃棄物センター

代表取締役 河原 淳

〒七〇八一―〇〇二三
津山市二宮八七〇
電話（〇八六八）二八―二〇五一



井上設備 株式会社

・一般廃棄物処理業 ・産業廃棄物処理業 ・排水管つまり抜き ・設備清掃及び設備管理



ISO14001:2004/JISO14001:2004
 当社は●のサイト及び業種について
 ISO14001認証取得しています。

●本社

〒702-8024 岡山市南区瀬安南町584-3 TEL086-263-8745 FAX086-263-8164

倉敷支店

〒710-0133 倉敷市藤戸町藤戸1428-2 TEL086-428-8615

人と地球にやさしい環境づくり Clean & Ecology



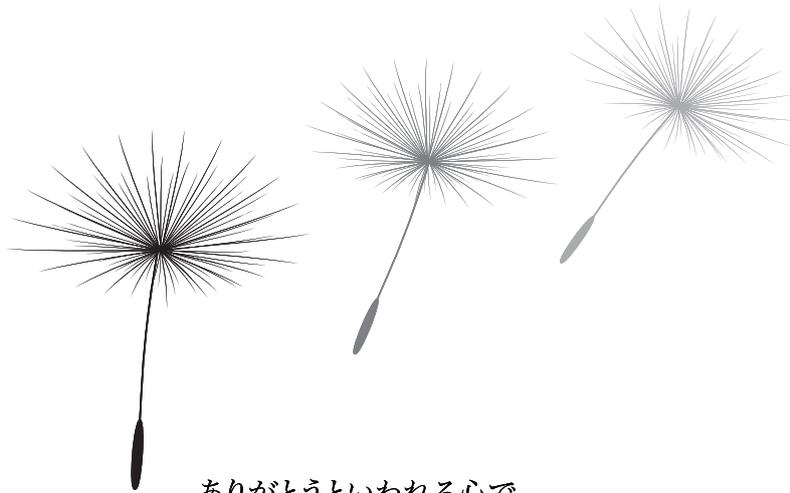
一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産廃収集運搬業
 優良産廃処理業者認定 取得
 環境マネジメントシステム ISO14001認証



山陽美業株式会社

本社：倉敷市老松町2-13-30 TEL086-434-3500
<http://www.sanyobigyo.jp/>

“物流”のその先へ



ありがとうといわれる心で

KOWAN

コワン株式会社

〒705-0022 岡山県 備前市 東片上 50-1

TEL 0869-64-3331

FAX 0869-64-3221



HINASE

high native service



☆海陸運輸倉庫業(保冷、危険物、薬品) ☆港湾荷役通関業

☆冷蔵輸送 ☆保税蔵置 ☆通運業 ☆エコ・リサイクル輸送

☆液体輸送 ☆生命・損害保険代理業 ☆乗合路線バス

☆貸切バス事業(福祉バス)

☆乗用旅客(福祉タクシー、紺色ハイヤー)

☆国内・海外旅行業(JTB特定パートナー店)



日生運輸株式会社

備前市伊里中588-1
TEL.0869-67-2555

備前バス

備前市伊里中578-1
TEL.0869-67-1555

Group Company

備前トラベルハイヤー 日生トーム 日生運輸(有) 備前観光サービス
備前トラベル保険サービス ヒナセカーサービス 明星エンタープライズ



解体工事

金属・非鉄金属リサイクル

産業廃棄物適正処理を通じて、
皆様の次の一步を

お手伝いさせていただきます。

建築物解体全般
製鋼原料・非鉄金属原料
産業廃棄物処理
東京製鐵㈱指定産納店

安田産業株式会社

代表取締役 安田 猛男

本社 〒702-8035 岡山市南区三浜町1-1-18

TEL.086-263-3061 FAX.086-263-0029

食品リサイクル法に基づく
『バイオ式生ゴミ処理機』の販売

(9割の生ゴミが減量できます。)



妹尾産業有限公司

代表取締役 畑 貞 夫

代表取締役 畑 英 男

〒701-0206 岡山市南区箕島 1306-26

TEL.086-282-0521 FAX.086-282-0647

★排水管の洗浄★
★粗大ゴミの収集（家庭・事業ゴミ）★
★団地内の側溝掃除★

今や、生産物とともに生じる産業廃棄物は年々増加し、膨大な量となっています。
これらの産業廃棄物をどう処理していくのか？
エコロジーが叫ばれる中、大切なのはリサイクル。ゴミは資源なのです。

- ・ 事業系一般廃棄物収集運搬業
- ・ 産業廃棄物処理、収集運搬業
- ・ 産業廃棄物中間処理作業

有限会社 豊田建運
代表取締役 豊田真爾

〒709-0704 岡山県赤磐市沢原1552

TEL 086-995-0001

FAX 086-995-2222

URL <http://www.toyotakenun.co.jp>

刃物の製造を通じ、地域社会に貢献します



【事業内容】

破碎機用破碎刃物・ペレタイザー用カッター・切削工具の製造及び再研磨

 **ゼノー工具株式会社**

代表取締役 岸本 芳明

本社工場 〒700-0853 岡山市南区豊浜町10-32

TEL: 086-263-5445 FAX: 086-265-0451

<http://www.zeno.jp>

担当: 平田 窪田 大月

email: hirata@zeno.jp

ガス化改質方式による焼却プロセス
資源再利用化
地域社会への貢献
排出事業者様の
リサイクル率大幅向上
And.....

低濃度PCB無害化处理

- ◆ 2014年5月に処分業許可取得済
- ◆ 処理能力 8.84m³/日・炉 × 2炉
- ◆ 受入対象物
 - ・微量PCB汚染絶縁油が廃棄物となったもの
PCBの濃度が5,000mg/kg以下の廃油
 - ・上記を処理したもの、又はPCB処理物のうち
その濃度が5,000mg/kg以下の廃油

COMING
Sustainability
PLUS ONE MORE
一般廃棄物・産業廃棄物処理の
パイオニア



水島エコワークス

代表取締役 岸田 修一

〒712-8074

岡山県倉敷市水島川崎通一丁目14番5

JFEスチール株式会社西日本製鉄所(倉敷地区)構内

TEL. 086-447-3255 FAX. 086-5547-3257

<http://www.eco-works.co.jp/>

Brilliant Future

求めているのは、お客様の「安心」「信頼」そして「満足」。

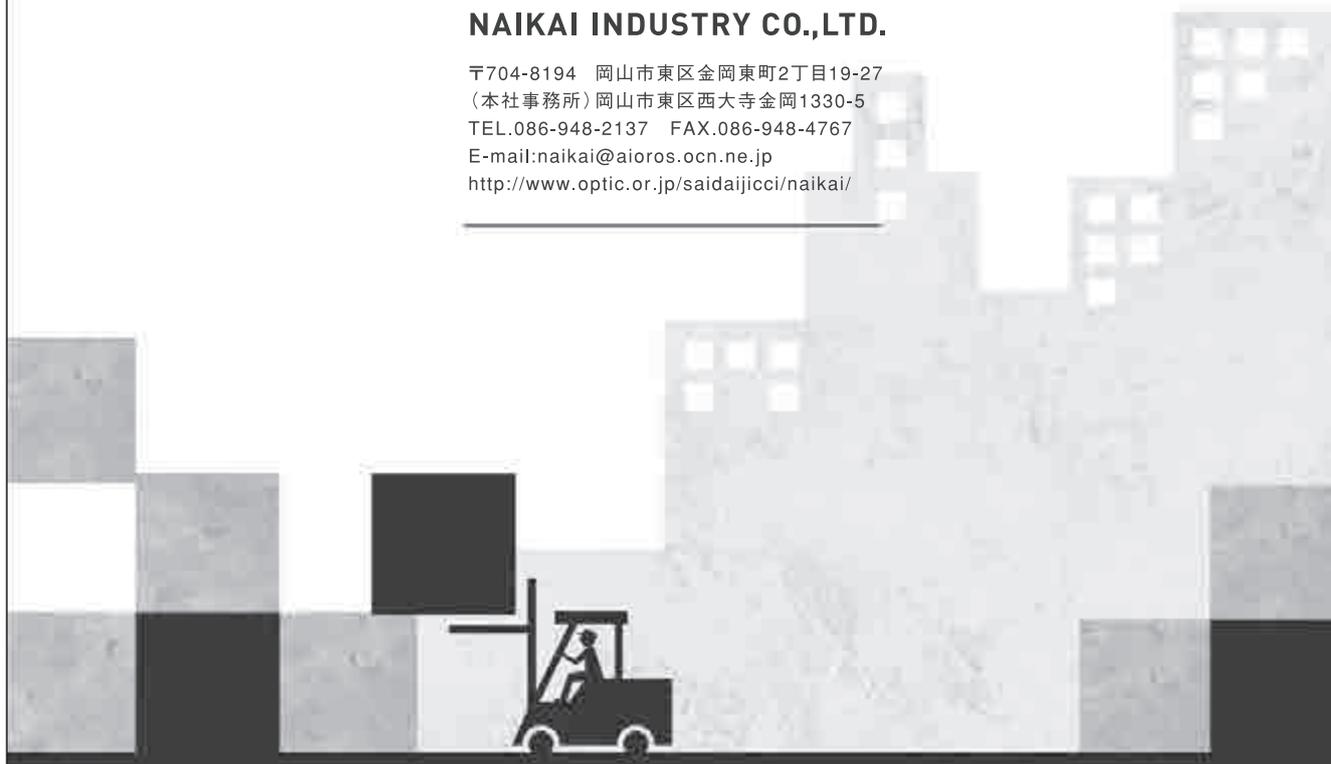
長年にわたって培ってきた「技術」と「ノウハウ」で地域社会に貢献します。



地 域 社 会 に 貢 献 す る

内海産業株式会社
NAIKAI INDUSTRY CO.,LTD.

〒704-8194 岡山市東区金岡東町2丁目19-27
(本社事務所) 岡山市東区西大寺金岡1330-5
TEL.086-948-2137 FAX.086-948-4767
E-mail:naikai@aioros.ocn.ne.jp
<http://www.optic.or.jp/saidaijicci/naikai/>



緑のリサイクル

産業廃棄物から一般廃棄物まで木くず、剪定枝、草の処理なら当社にお任せください。



営業品目 産業廃棄物・一般廃棄物中間処理業
木材チップ生産事業 緑化資材事業
不動産事業 保険代理業



タマタイ産業株式会社

本社 〒700-0935 岡山市北区神田町 2-1-25

TEL(086)224-3291 FAX(086)223-6354

URL <http://www.tamatai.com>

E-mail tamatai@po4.oninet.ne.jp

金川工場 〒709-3234 岡山市北区御津下田 450

TEL(086)724-0115 FAX(086)724-2694

E-mail tamakana@citrus.ocn.ne.jp

建部工場 〒709-3121 岡山市北区建部町大田 1425

TEL(086)722-3865 FAX(086)722-3459

E-mail tamatake@po5.oninet.ne.jp

ウッドタウン浦安 岡山市南区浦安木町 85-2



太陽光発電

宮崎県えびの市大字原田字中野 1258-3 外 5 筆

グループ企業



ライフオス株式会社(旧：玉野耐火産業株式会社)

本社 〒700-0935 岡山市北区神田町 2-1-25

TEL(086)224-3217 FAX(086)224-3310

木材事業

上月工業 〒679-5503 兵庫県佐用郡佐用町本郷 201-36

TEL(0790)87-0208 FAX(0790)87-0225

松永工場 〒729-0105 広島県福山市南松永町 4 丁目 7-50

TEL(084)933-5592 FAX(084)933-5593

岡山チップセンター 〒702-8045 岡山市南区海岸通 2 丁目 6-1

TEL(086)264-2158 FAX(086)264-2170

ガス事業

玉野営業所 〒706-0141 玉野市穂ヶ原 1289

TEL(0863)71-0133 FAX(0863)71-0134

東岡山工場 〒703-8214 岡山市東区鉄 145

TEL(086)279-0149 FAX(086)279-5971



住宅展示場

プレステージ城東 センターハウス

〒703-8222 岡山県岡山市中区下 126-1

TEL(086)279-8844 FAX(086)279-8845

DOWA

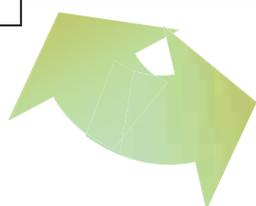
DOWAグループは、あらゆる産業廃棄物の処理を通じて、
地域社会と持続可能な社会に貢献します



エコシステムジャパン



岡山石油



エコシステム山陽

エコシステムジャパン株式会社

【営業窓口・収集運搬】

〒708-1523

岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1048-2

TEL:0868-62-1341 FAX:0868-62-1330

岡山石油株式会社

【産業廃棄物中間処理・再生油販売・セメント資源化】

〒702-8045

岡山県岡山市南区海岸通2丁目6-13

TEL:086-264-6866 FAX:086-264-6867

エコシステム山陽株式会社

【産業廃棄物・特別管理産業廃棄物・微量PCB汚染廃電気機器等中間処理】

〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1125 TEL:0868-62-1346 FAX:0868-62-1345